



第2回全国学生英語プレゼンテーション コンテスト個人の部で優秀賞を受賞

中村 俊宣さん (22歳・真名板)

国際社会で活躍を期待される学生たちが、語学力や表現力、論理性、獨創性を競い合う全国学生英語プレゼンテーションコンテスト。平成25年11月に開催された第2回大会で優秀賞を受賞したが、中村俊宣さんです。

中村さんは「将来、英語を使う仕事がしたい」という思いから神田外語大学に進学しました。2年生のときには、ニュージーランドへ短期留学したり、ネパールでボランティア活動に参加したりして、語学力を磨いたそうです。また、学内で開催された英語弁論大会にも参加。その大会で、単にすらすらと英語が話せるだけでなく、説得力のある構成で感情豊かに発表する優勝者を目の当たりにし、「自分がやりたいのはこれだ」と確信したのです。

プレゼンテーションの世界に魅了された中村さんは、その技術を高めるため、3年生の春から英語勉強サークルに加入しました。世界中のプレゼンテーション動画を見て、メンバーと英語で議論するなど、仲間たちと切磋琢磨する日々を過ごしました。その成果を試そうと、その年に初めて開



催された全国学生英語プレゼンテーションコンテストに参加するも、二次予選で敗退。さらなるレベルアップを図るため、サークル活動だけでなく自主学習にも今まで以上に励むようになりました。

4年生になり、大学生活の集大成として第2回大会に出場。複数の課題の中から「世界中のバイヤーに日本が誇る農産品をアピール」というテーマを選び、「熊本県の3つの農家で農業組合法人を作り、味の良い多収米『あきたわら』をアジア市場へ売り出す」というユニークな企画を提案しました。農業や貿易に関する専門的な知識がなかったため、日本貿易振興機構や同県の農家をはじめ、数々の専門家に何度も取材したそうです。「観客を引き込み、関心を持ってもらえるようなプレゼンテーションをしよう」と大会に臨んだ中村さんは、法人化による生産・輸送コストの削減、農地の分離や台風に強い品種の栽培による安定供給などを力強くアピールしました。堂々とした発表とは裏腹に「現実的なプランじゃないから、入選は無理かな」と諦めていたところ、予想外の結果が。優秀賞で自分の名前が呼ばれたのです。「驚きましたが、評価してもらえたことが大きな自信につながりました」と当時のことを振り返ります。

4月からマレーシアの旅行会社で働く予定の中村さん。「夢がかなってうれしい。人生の貴重な経験としてしっかり学んできたと思います」と希望に満ちあふれた表情で語る青年は、輝かしい未来へ向かって大きな一歩を踏み出してきました。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

俳句

嵐雪の梅一輪を実感し
矢場 大谷 良一

大声は今昔の鬼やらい
矢場 中根 和子

霜柱日の射すまでの命かな
南河原 今村 文女

難病の友を氣遣う寒夜かな
荒木 蛭間しげ子

ほとほどの運勢でよし初みくじ
城西 鈴木 正夫

寒々と白き三階櫓かな
城西 佐藤ヤスコ

しあわせの色をふりまく福寿草
城西 山下 利江

北の旅ストープ馬車にスルメの香
持田 二瓶 弘子

わが石の動きは寒し囲碁の会
持田 田中 和夫

年酒過ぎのぼうの殿のごとく舞う
持田 田嶋 保雄

少しづつ日の出早まり春近し
谷郷 富山 由喜

滝水柱おとぎの国を見るごとし
渡柳 川田 静江

臘梅は厳しさに耐え満開に
渡柳 長森 イセ

スーパァの大門松に迎えられ
埼玉 萩原 初江

露の薑食卓つつむ野の香り
中里 鯨 美智子

押入れの中で数えるお年玉
桜町 吉岡 守子

デイサービス二人羽織に初笑い
向町 茂木 咲子

元朝の古墳の空に風一つ
忍 岡田 修

はっきりと心もぬき柚子湯かな
佐間 矢澤喜美江

冬日射す公園ベンチ誰を待つ
棚田町 財津ミチエ

(三沢 一水 監修)

はじめまして

平成25年
3月生まれのおともだち



平成25年5月生まれのお子さんを募集します

- 3月3日(月)~31日(月)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、4月2日(水)午前11時から市役所307会議室で公開抽選を行います。

応募待ってるよ!



内藤 珂心ちゃん(和田)
平成25年3月13日生まれ
父 和彦さん 母 睦美さん
「皆に愛される
心の優しい子に☆」



高野 新菜ちゃん(長野)
平成25年3月7日生まれ
父 能成さん 母 悦子さん
「ダンスとラッパが
大好き♡」



飯田 圭佑ちゃん(樋上)
平成25年3月28日生まれ
父 勝雄さん 母 恵里佳さん
「圭佑の笑顔も
家族の幸せ♡」



横田 創介ちゃん(門井町)
平成25年3月16日生まれ
父 雄司さん 母 眞希さん
「希実と元気に
育ってね!」



星野 湖春ちゃん(門井町)
平成25年3月22日生まれ
父 明彦さん 母 智恵さん
「いつも笑顔で
ありがとう♡」



「いつも笑顔で
ありがとう♡」



ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社大堰観光・大堰観光バス すてきな旅のパートナーを目指して



豊かな自然や歴史的な建造物、湯けむり漂う温泉、その土地ならではの美味しい料理...旅は新しい出会いと感動を与えてくれる素晴らしいものです。今月紹介する株式会社大堰観光・大堰観光バスは、確かな安全と真心あるサービスで、お客さまにすてきな旅を提供しています。

利根大堰のすぐそばに本社を構える同社。その礎を築いたのが長島隆行さんです。平成3年に旅行業を、その2年後に一般貸切バス業を開始しました。現在は、息子の豊さんが代表取締役を務めています。

同社では、社員が事前に観光地に足を運び、宿泊先の雰囲気や料理の味、さらには現地の交通状況など徹底した調査を行っています。そして、自分たちの足で稼いだ「とっておきの情報」を惜しげもなく提供すること、オリジナルティーあふれる旅を演出しているそうです。

「一般のツアーでは、なかなか紹介できない場所を案内する。

穴場のスポットで絶品料理を食べられる。その土地でしかできない体験ができる。こういった旅をコーディネートできるのがわが社の強みです」と豊さんは胸を張ります。

また、海外に行くときは「ドアTOエアポート」というサービスを実施。自宅までマイクロバスが迎えに行き、フライト時間に合わせて羽田空港や成田空港まで送ってくれるのです。このようなサービスを提供できるのも、同社が一般貸切バス業を手掛けているからこそ。自分たちが持っている能力をフル活用しながら、大手旅行会社との差別化を図っています。

「お客さまのニーズに応えるだけでなく、それ以上に良いものを提案していきたい」と経営ビジョンを語る豊さん。長年旅行業界で培ってきたノウハウとこれからの思い出に残るすてきな旅のパートナーとして、寄り添っていくことでしょう。

会社プロフィール

代表取締役 長島 豊
事業内容
旅行業法に基づく旅行業、一般貸切旅行運送事業、一般乗合旅行運送事業

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。